

# 畜産研通信

令和5年度第1号



～今号の内容～

- ・令和5年度の研究課題
- ・令和5年度から新たに取り組む課題
- ・家畜改良および種畜供給事業
- ・お知らせ

## 令和5年度の研究課題

### 【飛騨牛研究部】

- 牛飼養管理の精密化・省力化を目的としたセンシング技術の開発
- 画像解析技術とゲノム解析技術を併用した飛騨牛の特徴形質に優れた種雄牛開発
- 牛伝染性リンパ腫(旧名:牛白血病)ウイルス(BLV)抵抗性を備えた飛騨牛の造成
- 飛騨牛の子牛生産阻害因子の解明
- 非分解性蛋白質の早期給与が牛枝肉成績に及ぼす影響
- 飛騨牛におけるゲノム育種手法の活用 **NEW**

### 【酪農研究部】

- 胚段階でのゲノム選抜法の実用化研究
- 乳用牛の周産期における潜在性疾病の早期発見技術の開発
- 飼料用稲等のロールバールサイレージにおけるカビ低減化に関する研究

### 【養豚・養鶏研究部】

- ゲノム解析技術を利用した抗病性新種畜の開発
- 養豚業における抗菌薬の使用量を低減する新たな飼養管理技術の開発
- 抗病性指標の評価を活用した健全養豚実現体系の構築
- 畜産汚水のメタン発酵に係る前処理方法の開発及び廃液の液肥活用に向けた肥料成分濃縮方法の開発
- ゲノム育種による肉用奥美濃古地鶏の増体性および食味性の改良
- 肉用奥美濃古地鶏原種鶏群の改良および雄系原種鶏の作出に関する研究
- ウインドレス鶏舎における効率的な衛生管理体系の確立
- 高・低病原性鳥インフルエンザ等の危機管理に対応する遺伝資源保護技術の確立

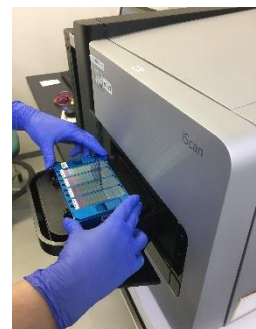
## 令和5年度から新たに取り組む課題

### 【飛騨牛研究部】

#### 飛騨牛におけるゲノム育種手法の活用 令和5～7年度

当研究部では、これまで黒毛和種のゲノム育種価の研究に取り組み、肥育牛の遺伝子情報と肉質情報を用いた手法により、種雄牛や繁殖雌牛のゲノム育種価を高い正確度で評価できるようになりました。

今年度からは、これまでに改良が進んでいなかった飼料利用性や繁殖性に関する形質についてのゲノミック評価方法の開発に取り組めます。また、改良速度の向上のため、受精卵でのゲノミック評価方法を確立し、優良種雄牛造成手法を確立します。



ゲノム検査の様子

## 家畜改良および種畜供給事業

### 【飛騨牛研究部】

#### 飛騨牛改良事業

安福系雌牛の系統繁殖を実施し、その中から優良な種雄牛や雌牛の生産を行うことにより、飛騨牛ブランドの維持発展に貢献します。

また、造成された優良な種雄牛の凍結精液を製造・譲渡します。

#### 飛騨牛産肉能力検定事業

飛騨牛ブランドを支える高能力種雄牛を造成するため、種雄牛候補牛の産肉能力検定を行います。

#### 県優良種雄牛造成対策事業

種雄牛造成方針による優良雌牛の選定や種雄牛候補牛の直接検定、現場後代検定にゲノム育種価を活用し、次世代種雄牛造成を行うため、DNA 抽出や遺伝子型(SNP)を解析します。

### 【酪農研究部】

#### 家畜性判別胚供給事業

畜産研究所内の高能力乳用牛から採取し、雌雄判別した雌胚を譲渡します。県内農家の乳用牛から採取された牛胚を性判別します。

#### 奨励品種指定試験～自給飼料生産・利用拡大推進事業～

自給飼料の生産性向上を図るには、地域の自然条件や利用目的に適応した優良な品種を利用することが極めて重要であり、岐阜県下において、普及を促進する必要があると認められる品種の適応性を調査し、県奨励品種選定の基礎資料とします。今年度は牧草7品種の比較試験を実施します。

### 【養豚・養鶏研究部】

#### 種豚再造成事業

ポーブラウンの遺伝資源を守るため、凍結精液と受精卵の作成を推進するとともに、県内養豚農家から導入したポーブラウンを帝王切開によって特定の豚疾病が存在しない集団(SPF: Specific Pathogen Free)とし、この集団から得られた産子については、発育、強健性(抗病性)に優れた種豚となるよう育種改良に取り組みます。

## お知らせ

### 【飛騨牛研究部】

#### 現場後代検定枝肉研究会の開催予定

今年度の種雄牛候補牛の産肉能力検定に係る枝肉研究会の開催予定は次のとおりです。

- ・「勇福平(はやふくひら)」 令和5年11月
- ・「元景虎(もとかげとら)」 令和6年1月
- ・「清光平(きよみつひら)」 令和6年3月

## 岐阜県畜産研究所 ホームページ<http://www.livestock.rd.pref.gifu.lg.jp>

### □ 飛騨牛研究部

〒506-0101 高山市清見町牧ヶ洞 4393-1 Tel:0577-68-2226 Fax:0577-68-2227

### □ 酪農研究部

〒509-7601 恵那市山岡町久保原 1975-615 Tel:0573-56-2769 Fax:0573-56-2974

### □ 養豚・養鶏研究部

〒501-3924 関市迫間 2672-1 Tel:0575-22-3165 Fax:0575-22-3164